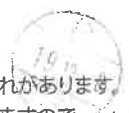


スーパーソフトレザー高座椅子 -大河- / YS-D1800HR 取扱説明書

この度は、当製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。
正しく安全にご使用頂くために、この説明書をよくお読みの上、未永くご愛用下さい。
また、いつまでもご覧いただけるように大切に保管して頂きますようお願い致します。

《使用上の注意》

- ◎背もたれに過度な力を加えたり片方に片寄った力を加えると転倒や破損の恐れがあります。
- ◎同時に2人以上で使用しないで下さい。
- ◎背もたれが確実にロックされていることを確認し、ご使用下さい。
- ◎座る目的以外の使用をしないで下さい。
- ◎座面の上には長時間物を置かないで下さい。座面の変色、変形の原因となりますのでご注意下さい。
- ◎背もたれの部分に乗ったり、腰掛けたり、座面の上に立ったり、とび跳ねたりしないで下さい。
- ◎タバコ・ライター・ストーブ等、火気は近づけないで下さい。
- ◎直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで高温になる場所、湿度の高い場所などでは使用しないで下さい。
- ◎傾斜または凹凸した床面を避け、平らな場所に水平になるように置いて下さい。
- ◎畳・フローリングの部屋でご使用の場合は、マットやカーペット等を敷いてご使用下さい。畳・フローリングを傷つけるおそれがあります。
- ◎ご使用中に、ボルトのゆるみが発生する可能性があります。ゆるんだまま使用すると、重大な事故につながる恐れがありますので、一ヶ月に一度、各部のボルトにゆるみがないか、定期的に点検して頂きます様、お願い致します。
- ◎商品は開封直後まれに、臭いが気になる場合がありますが、その時は一日風通しのよい場所で陰干しして下さい。



①

②

①設置場所の注意
畳・フローリングに直接置くと、傷がつく恐れがあります。
敷物等を敷いてご使用ください。

②転倒注意
背を水平にしてくつろぎの際は、絶対に足を浮かせないようにご注意ください。また、肘や背もたれの上に座らないでください。バランスを崩して転倒する恐れがあり、大変危険です。

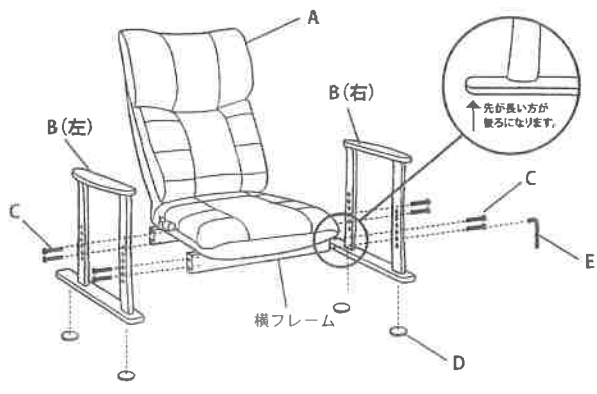
《お手入れ方法》

◎表面の汚れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いて下さい。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた布でよく拭き取って下さい。

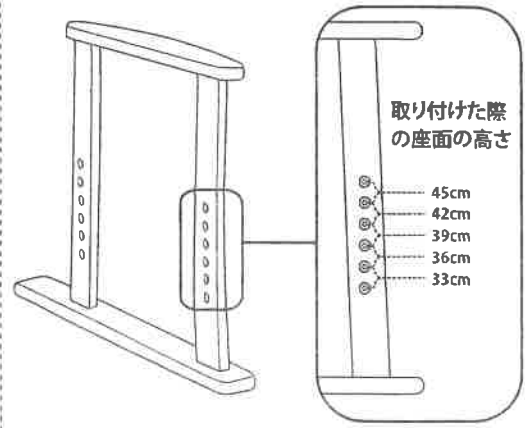
《組立て手順》 ※ 組立て前に部品が揃っているかご確認ください。

部品一覧				
<p>A/本体</p> <p>1</p>	<p>B/脚フレーム(右・左)</p> <p>各1</p>	<p>C/ボルト</p> <p>8</p>	<p>D/クッション材</p> <p>4</p>	<p>E/六角レンチ</p> <p>1</p>

- ① A本体の底面に取り付けてある横フレームに、B脚フレーム(右・左)のお好みの穴位置に、Cボルトと、E六角レンチを使用して仮締めします。
※脚フレームには前後・左右がありますので、ご注意ください。
- ② ガタツキが無いように全体のバランスを確認して、全てのボルトを締め付けます。
- ③ Dクッション材を、B脚フレームの底に貼ります。



座面の高さは5段階の高さ調節が可能です。
お好みの高さ位置に本体を取り付けてください。
※座った際に、足の裏が床にぴったりと付く座面の高さでご使用頂く事をおすすめいたします。



背もたれのリクライニング操作

◎背もたれは14段階(可動数は13段階)に角度調節できます。

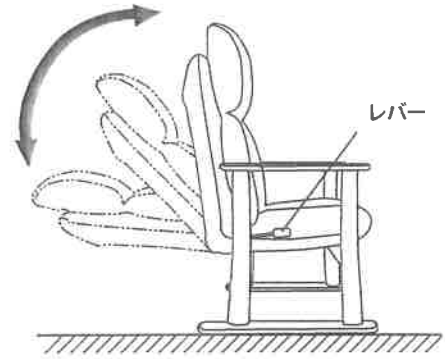
●背もたれを倒す場合

座った状態でレバーを引き上げ、徐々に背もたれに力をかけてください。
※急激に倒すと転倒する恐れがありますので、ゆっくりと倒してください。

●背もたれを起こす場合

背もたれに体重をかけない状態でレバーを引き上げると背もたれが起き上がります。
※内部のバネの力により勢い良く起き上がりますので、背中や手で背もたれを押さえながらゆっくりと起こしてください。

背もたれの角度は
14段階に調節ができます。



枕のリクライニング操作

◎枕は5段階に角度調節できます。

●枕を倒す場合

枕の後ろから手で押して、お好みの角度に調節します。

●枕を起こす(もとの位置に戻す)場合

図1の状態から両手で最後まで押し込んだ後、図2の位置まで手を添えて戻します。

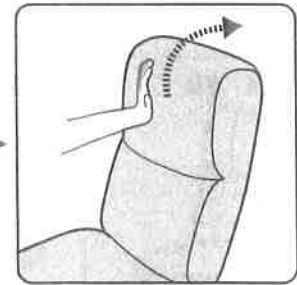


枕の角度は5段階に
調節ができます。

図1



図2



<品質表示>

外形寸法・・・約 幅685×奥行760～1250×高さ950～1070mm
座面の高さ・・・約 330・360・390・420・450mm

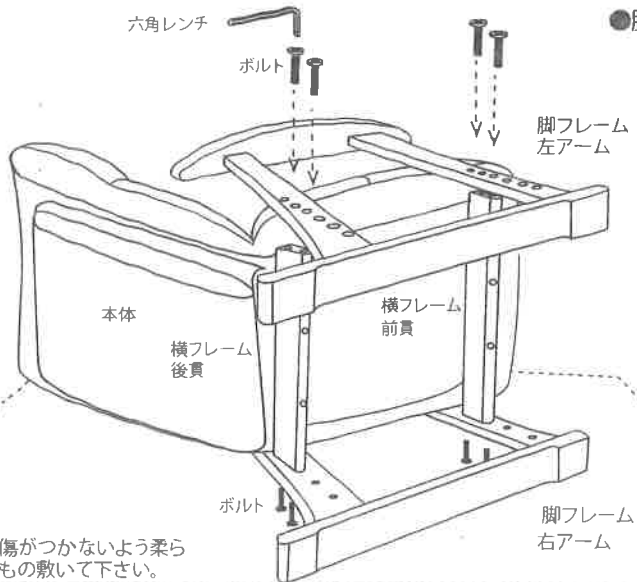
主材質
構造部材/金属(鋼)
張り材/ソフトレザータイプ:合成皮革(PU & PVC)
クッション材/ウレタン
フレーム/天然木(ラッカー塗装)

<表示者>

株式会社 宮武製作所
大阪市東住吉区桑津1丁目23番13号

*脚部を組み立てる際の注意点。

- 本体を横に倒し左右のアームを取り付けます。
- 初めにボルトを差し込んで3回転程度の仮締めして下さい。



*組立てる前に御確認下さい。

- 左右の取り付け穴の位置の確認をして下さい。
- 脚フレームの前後左右の確認をして下さい。



脚部はホゾ穴がある方が外側です。

- ・ボルトは必ず仮締め状態で固定します。
- ・左右のどちらかを仮固定し、逆に設置し反対側も同じように仮締めします。

- ・初めから貫を強く固定しますと片方の貫を固定する際、穴位置がずれる場合があります。仮締め状態で貫棒の穴を調整しながらボルトを差し込み、六角レンチで3回転程度の仮締めを行います。
- ・最終的に締め切る際にホゾ穴にボルトの頭が入っていきます。